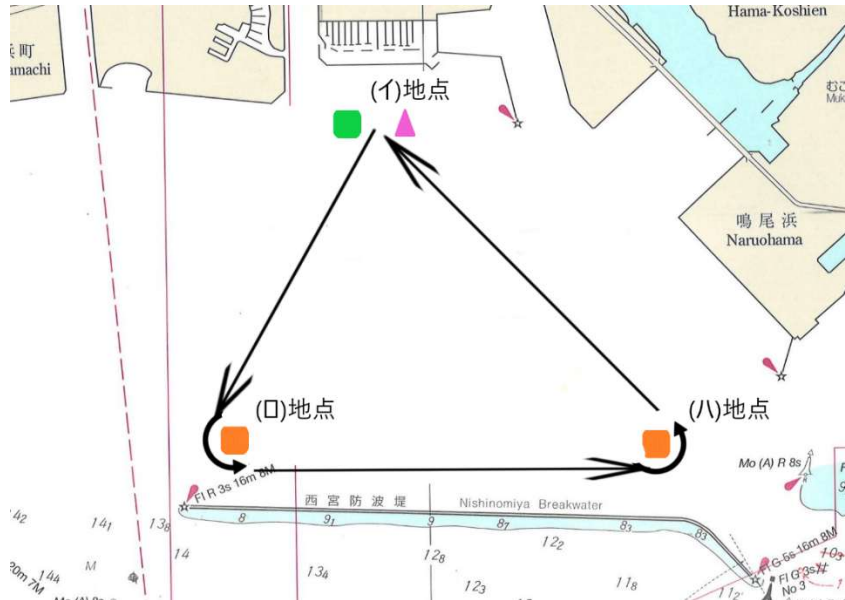


サンセット宮川杯のご案内

新西宮ヨットハーバー沖のゲートより出航し、西宮防波堤西端手前のブイ、東端付近のブイを經由し、ヨットハーバー沖に設定したゲートまで戻ってくる約5海里的のコースの帆走時間を自己申告頂く帆走訓練会と致します。

出航ゲートのオープン時間帯の中で随時帆走開始出来るので、最短記録を狙うので有れば風が吹く時間帯の読みも必要なストラテジーの要素も含む帆走会です。運営艇(浜風)が海面に警戒艇として巡回し、各参加艇のセーリング写真を撮影いたします。セーリング中は周囲の監視をしっかりと行い、艇の接近時は早めに回避行動をとる様にお願い致します。



イ地点 新西宮ヨットハーバー沖マーク(ピンク色ブイ)座標位置 34° 42. 2 'N 135° 19. 8' E 付近

ロ地点 西宮防波堤西端付近マーク(オレンジ色ブイ)座標位置 34° 41. 0 'N 135° 19. 0' E 付近

ハ地点 西宮防波堤東端北西側マーク(オレンジ色ブイ)座標位置 34° 41. 0 'N 135° 21. 0' E 付近

各地点のブイ投入位置はハーバー沖での他のレースの状況及び、本船等の停泊状況により上記座標より変更する場合があります。

1. 参加資格および申し込み

このイベントは、以下の要件を満たす艇が参加出来ます。

- ・(社)関西ヨットクラブ レース安全及び危機管理基準の要件を遵守すること。(本紙末尾に添付)
- ・有効な船検証、小型船舶操縦士免許を取得していること。
- ・主催者の定めるサンセットレーティングを承認すること。(項目 7.「サンセットレーティング」参照)
- ・賠償責任、搭乗者傷害、捜索救助費用を満たすヨット保険に加入していること。

関西ヨットクラブ HP 内のレース申込みアプリ <https://mypage.kyc.or.jp/login> より申込み手続きを行うとともに、**出艇料及び乗員登録料を指定の口座への振込みを8月30日(土)17:00まで**に完了すること。

※外来艇は、外来艇係留申込書(関西ヨットクラブ HP <https://kyc.or.jp/race/2025-8-24-kyc-point-race-irc-class%ef%bc%86-kyc-r-class/>) をメールにて関西ヨットクラブ事務局(e-mail office@kyc.or.jp) へ送付。入港後、ビジターバースに係留し新西宮ヨットハーバー受付にて入港手続きを行ってください。

2. 参加料及び振込先

- ・出艇料 5,000 円
- ・乗員料(中学生以上):4,000 円/人(BBQ パーティ費込み。)
- ・乗員料(小学生以下):2,000 円/人(BBQ パーティ費込み。)
- ・BBQ のみ参加(中学生以上):4,000 円/人

・BBQ のみ参加(小学生以下):2,000 円/人

・振込先 三井住友銀行 西宮支店 普通預金 1278002 一般社団法人関西ヨットクラブ

※振込手数料は各自でご負担ください。

※参加申込み手続き完了後の申込みの取り消しは受付けておりません。

申込み:8月25日(月)までに大まかな参加数をメールにてご連絡ください。

申込締切:8月30日(土)食材等の準備のため申し込み期限は厳守。

3. スケジュール

9月 6日(土)	10:00-10:30	受付・出艇申告(KYC1F ウェットバー)
	12:30-13:00	出航ゲートオープン時刻
	15:00	帰港ゲートクローズ予定時刻
	15:45	帰着申告用紙提出期限(KYC1F ウェットバー)
	16:00-17:30	サンセットBBQ交流会
	17:30	BBQ 片付け、解散

4. 帆走会概要

10:00-10:30 の受付時に帰着申告用紙を受け取り、質問が有る場合はその際にご相談下さい。

12:30-13:00 の間の任意のタイミングで出航ゲート(緑色とピンク色ブイの間)を西宮防波堤に向けて通過し、その時刻を記録ください。帰港ゲートクローズ予定時刻以降にブイを回収するので、回収前までに帰港ゲート(緑色とピンク色ブイの間)を南側より通過し、その時刻を記録。帰港後速やかに帰着申告用紙を提出願います。

※全艇の回航を確認後、マークの回収を行いますので、帰港ゲート通過完了後、VHF72chにて浜風、または伊藤携帯(090-8218-1295)までご一報願います。

5. コース

新西宮ヨットハーバー沖 34° 42. 2 'N 135° 19. 8' E 付近に設置した緑色とピンク色ブイの間のゲートより出発し、西宮防波堤西端手前の口地点のオレンジ色ブイを反時計回りに通過し、防波堤東端の北西方向のハ地点のブイを反時計回りに通過し、ヨットハーバー沖に設定した緑色とピンク色ブイの間のゲートまで戻ってくる約5海里のコースとします。

※ヨットハーバー沖及び、西宮防波堤東端からヨットハーバーに至る海面は、ディンギー、ウインドサーフィン、本船が輻輳するエリアの為、周囲の監視を怠らず、早めの回避行動をとる様に願います。

防波堤北側を帆走の際は堤防直近を帆走せず、万一のトラブル発生の際に対応出来る様な十分な距離を取りましょう。

6. 記録発表

自己申告にて報告された所要時間から以下に該当する艇を発表する。

- ・ファーストホーム艇: 所要時間に関わらず、最初に帰港ゲートを通過し、いち早く BBQ の準備を手伝った艇
- ・サンセットマスター: 一番長くセーリングを楽しんだ艇
- ・宮川杯: 所要時間に事務局の定めるレーティング(サンセットレーティング)を乗じた修正時間が少ない艇
- ・サンセットレコードホルダー: 所要時間が最短の艇

7. サンセットレーティング

サンセットレーティングは、艇の大きさやデザイン、セイル種類、セイルの大きさから予測される帆走性能を係数にしています。

8. その他

参加艇には事故防止の為、海上衝突予防法の順守及び、**出港から帰港するまでの期間は個人用浮揚用具の着用を義務付けています。**

9. 問合せ先

一般社団法人関西ヨットクラブ <https://kyc.or.jp/> 住所 〒662-0934 西宮市西宮浜 4-16-1
電話 0798-26-0691 e-mail office@kyc.or.jp (毎週火曜日及び水曜日は休館日となっております。)

(社)関西ヨットクラブ レース安全及び危機管理基準 (レース参加艇の乗員全員は以下の全項目を遵守すること)

- ①海上衝突予防法、海上交通安全法、港則法など関連法規を遵守すること。
- ②法令に関わり無く航行中は他の船舶との衝突予防に努めること。
- ③有効なヨット保険等、損害賠償保険に加入していること。
- ④有効な小型船舶検査証を有し、法定備品を搭載していること(DRAGONを除く)。
- ⑤海上では常にライフジャケットを着用すること。(規則により変更されたものを除く。)
- ⑥JSAF 及び所属する各クラス協会の定める事項を遵守すること。
 - ・安全備品等、必要な備品を搭載していること。
 - ・セイルに番号を付けること。メインセールとヘッドセールの番号が異なる、又は番号を持たない艇は事前に申し出ること。
- ⑦ボートを安全な状態に保っていること
 - ・アンカーとアンカーラインが常時、使用可能な状態であること。
 - ・レース海面のどこからでも帰港可能な量以上の燃料を搭載していること。(DRAGONを除く)
 - ・安全備品等は常に使用可能な状態にしておき、使い方も把握しておくこと。
 - ・日頃からボート整備に努め、安全な航行が可能な状態にしておくこと。
- ⑧海上では常時、緊急通信手段が通信可能な状態にしておくこと。
 - * 艇長の携帯電話
 - * VHF 72ch
- ⑨艇長が危険と判断した場合速やかにレースをリタイアしレース本部に連絡すること。リタイア後は速やかに帰港すること。
 - ・風、波等の状況が悪くなりレース続行が危険だと判断した時。
 - ・ボートや艀装品等に不具合が生じレース続行が不可能と判断した時。
 - ・乗員が危険な状態に陥った時(怪我、病気、乗員の落水等状況により)
- ⑩海上で危険な状態に陥った時は速やかに対処し、レース本部と各方面(必要な場合)に連絡すること。
 - ・怪我や病気の対処(止血、心肺蘇生等)と救助要請。
 - ・乗員の落水時の対処(救出)と救助要請。
 - ・ボートが航行不能な状態になった時の対処と救助要請。
 - * レース本部船: VHF72ch もしくは 090-8218-1295(伊藤携帯)
 - * レース陸上本部: 0798-26-0691(KYC 事務局)
 - * 参加各艇: VHF72ch
 - * 海上保安庁: 118 番
- ⑪乗員落水時、病人や怪我人が出た時、艇にダメージがあった時等の対処方法を把握しておくこと。
 - ・落水者救出方法。
 - ・止血や心肺蘇生法等。
 - ・応急ティラーやラダーの取り付け方法等。
 - * チーム内で話し合い、講習会の受講や練習を行っておくことを推奨する。
- ⑫全乗員の緊急連絡先を把握していること。
 - ・乗員の緊急時の連絡先(家族など)を日頃からチーム内でまとめておくこと。
- ⑬レース期間中いつでも主催者による安全立ち入り検査に異議の無いこと。
- ⑭ドローンでレースを撮影する場合は、事前にレース委員会に申告し、許可を得ること。
- ⑮当ヨットクラブが開催するヨットレース等の映像の管理権は当ヨットクラブの管理下にあるの、商業利用の場合は当ヨットクラブの了解を得ること。

※各事項のルール、方法の詳細は専門書、専門マニュアルを参照して下さい